

□

対象地設定
広葉樹伐倒
状況



□

同上



□

同上





4

イヌマキ単一区
状況



5

同上



6

広葉樹混交区
設定状況



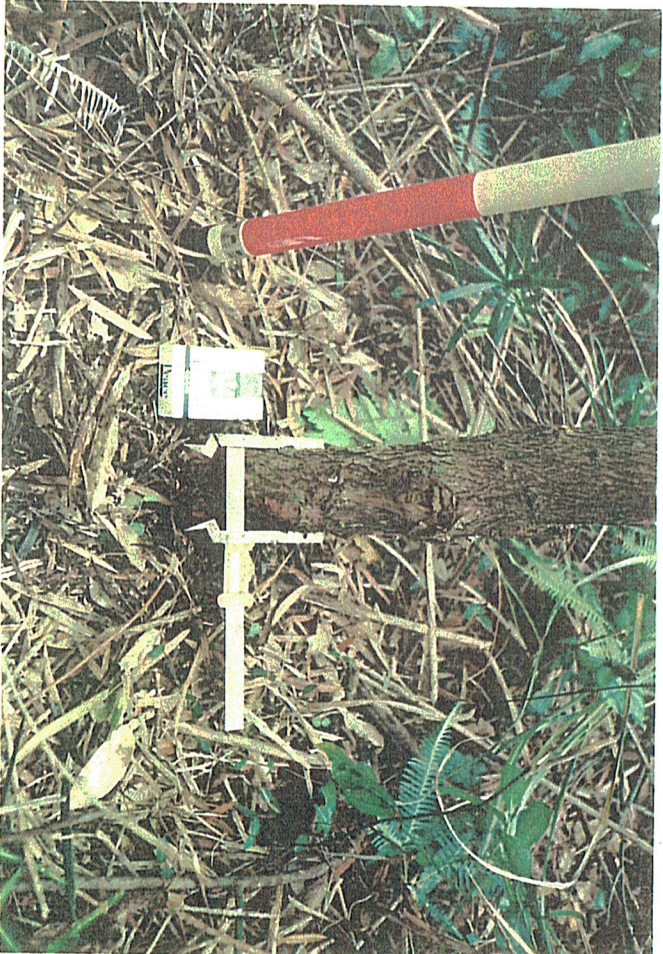
広葉樹混交林
林床



有用広葉樹
測定林床



広葉樹測定
林床





<p>課題 15 イヌマキ人工更新法</p> <p>目的 皆伐天然下種更新地において、イヌマキを植栽し、天然有用広葉樹導入と組合せ、用材林としての育成方法を確立する。</p>	<p>継続(指示)</p> <p>担当</p> <p>森林整備課</p> <p>開発箇所</p> <p>石助山 国有林</p> <p>開発期間 昭和61年度 ~ 平成13年度</p>																														
<p>年度別実施経過</p>	<p>11年度実施報告</p>		<p>12年度実施計画</p>																												
<p>1 試験地設定 (61年3月) (1) 場所 万助山国有林 67い2林小班 (2) 面積 0.10ha (3) 本数 200本</p> <p>2 保育 (1) 坪刈実施 (62~平成5年度) (2) ぼう芽整理 (63年度) 有用広葉樹本数整理 (3) 除伐 (平成9年度)</p> <p>3 調査事項 (1) 活着調査 (62年度) (2) 成長量調査 (61~平成6~10年度)</p>	<p>1 成長量調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H. 11</th> <th>昨年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苗長</td> <td>450.44 cm</td> <td>43.44 cm</td> </tr> <tr> <td>根元径</td> <td>6.25" //</td> <td>0.76" //</td> </tr> <tr> <td>枯損</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 林分構成状況調査 本年度試験地内をイヌマキ単一区と混交区に 分けため広葉樹を12本伐倒した。 現存本数は、イヌマキ 187本 (93%) と 広葉樹 13本 (7%) となった。</p> <p>3 有用広葉樹成長量調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>樹高 m</th> <th>胸高径 cm</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タブノキ</td> <td>7~8</td> <td>10~14</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>シイ類</td> <td>6~8</td> <td>8~14</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>カシ類</td> <td>6~7</td> <td>10</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 試験対象地の設定 対象地がないため、この試験地内を単 一区(イヌマキ)と混交区に分けた。</p> <p>(1) イヌマキ単一区 イヌマキ本数 92本</p> <p>(2) イヌマキと広葉樹の混交区 イヌマキ本数 95本 広葉樹本数 13本</p> <p>(3) その他 設定位置は別紙のとおり</p>		H. 11	昨年比	苗長	450.44 cm	43.44 cm	根元径	6.25" //	0.76" //	枯損	なし			樹高 m	胸高径 cm	本数	タブノキ	7~8	10~14	3	シイ類	6~8	8~14	7	カシ類	6~7	10	3	<p>平成8年度から平成13年度まで開発期間 を延期。</p>	<p>1 各種調査 (1) 成長量調査 (2) 林分構成状況調査 (3) 有用広葉樹成長量調査</p> <p>2 試験対象地の設定 (1) イヌマキと広葉樹の混交区 (2) イヌマキ単一区</p>
	H. 11	昨年比																													
苗長	450.44 cm	43.44 cm																													
根元径	6.25" //	0.76" //																													
枯損	なし																														
	樹高 m	胸高径 cm	本数																												
タブノキ	7~8	10~14	3																												
シイ類	6~8	8~14	7																												
カシ類	6~7	10	3																												

課 題	11 イヌマキ人工更新法				開発期間	昭和 61 年度 ~ 平成 13 年度		
開発箇所	万助山国有林 67い1林小班	担当部署	指導普及課	共同研究 機関	技術開発 目標	3	特定区域 内 外	●
開発目的 (数値目標)	皆伐天然下種更新地において、イヌマキを植栽し、天然有用広葉樹の導入と組み合わせ、用材林としての育成方法を確立する。							
年度別実施報告	1 2 年度 実施報告				1 3 年度 実施計画書			
	実施内容				普及指導			
1 試験地設定 (61年3月) (1) 場所: 万助山国有林 67い1林小班 (2) 面積: 0.10ha (3) 本数: 200本 2 保育 (1) 坪刈 (S62~H5) (2) ぼう芽整理 (S63) 有用広葉樹本数整理 (3) 除伐 (H9) 3 調査事項 (1) 活着調査 (S62) (2) 生長量調査 (S62~H12)	1 生長量調査 H12 昨年比 苗長 471.6cm 21.1cm 根元径 7.4cm 1.3cm 枯損 2 単一区、混交区別生長量 単一区 混交区 苗長 477.3cm 463.3cm 根元径 7.4cm 7.4cm							1 イヌマキ生長量調査 2 広葉樹調査
技術開発委員会における意見								

(注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。
 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内
 外両方は「◎」のいずれかを記入すること。
 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標 (九州森林管理局長通達)」の 1~5 のうち、該当
 する目標の番号を記入すること。
 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

様式2

平成13年

技術開発実施報告・計画

九州森林管理局

課題	7 イヌマキ人工更新法		継続 (指 示)	担 当	森林整備課	開発 箇所	長 崎 森林管理署	
目的	皆伐天然下種更新地において、イヌマキを植栽し、天然有用広葉樹導入と組合せ、用材林としての育成方法を確立する。		開発期間		昭和61年度 ~ 平成13年度			
年度別実施経過			13年度実施報告			14年度実施計画		
<p>1 試験地設定 (昭和61年3月)</p> <p>(1) 場所 万助山国有林 67い2林小班</p> <p>(2) 面積 0.10ha</p> <p>(3) 本数 200本</p> <p>2 保育</p> <p>(1) 坪刈実施 (昭和62~平成5年度)</p> <p>(2) ぼう芽整理 (昭和63年度)</p> <p>有用広葉樹本数整理</p> <p>(3) 除 伐 (平成9年度)</p> <p>3 調査事項</p> <p>(1) 活着調査 (昭和62年度)</p> <p>(2) 生長量調査 (昭和61, 平成6~12年度)</p> <p>(3) 林分構成状況調査 (平成6~11年度)</p> <p>(4) 有用広葉樹生長量調査 (平成6~11年度)</p>			1 生長量調査	備 考 (評価及び普及指導)		平成8年度から平成13年度まで開発期間を延期。		平成13年度完了